

## 令和5年度 第2回学校関係者評価委員会 議事録

日時：令和6年2月27日（火）14：00～15：15

会場：5階 カンファレンスルーム

### 委員出席者

- A 委員長：高等学校 元教頭
- B 副委員長：山口県看護協会 会長
- C 山口県介護福祉士会 会長
- D 看護学科実習病院 看護部相談役
- E 介護福祉学科実習施設 理事長
- F YIC 看護福祉専門学校看護学科 学生家族
- G YIC 看護福祉専門学校介護福祉学科 学生家族

欠席者：なし

### 学内出席者

- H 校長
- I 副校長
- J 副校長
- K 事務長
- L 看護学科学科長
- M 介護福祉学科学科長
- N 書記：看護学科教員

### I. 校長挨拶

今回は2回目の学校関係者評価会議となる。学校自己点検・評価結果、在学生アンケート結果を挙げさせていただいているが、それ以外、些細なことでも構わないのでざっくばらんにご意見をいただきたい。

### II. 報告・議事

司会 K

議長選出：学校関係者評価委員会規定 第6条の3 により議長は委員長とする。

議長 A：議事1「令和5年度学校関係者評価委員会報告」について

I：(資料I-1、I-2に沿って説明)

令和5年度学校関係者評価委員会報告 資料I-1

学校自己点検・評価表、評価項目の評価結果 資料I-2

## I：評価委員会報告

本委員会の概要、評価委員の氏名、第1回・第2回委員会の開催内容

## II 重点項目への取り組み

主な取り組み内容を項目に沿って説明

### 1 学生募集

- (1) 各ガイダンス（高校・会場）からOCへの導線強化  
看護学科・介護福祉学科・社会人入学生の確保について
- (2) OC、ガイダンス等の対応マニュアルを活かした学生募集
- (3) SNSを活用した募集活動の強化
- (4) 重点校に対しての募集活動の継続・強化

### 2 教育内容の充実

- (1) ICTを活用した教授・学習方法の工夫
- (2) 国家試験対策の計画的な実施・強化
- (3) 育成人材像に向けたカリキュラム編成

### 3 学生支援体制の充実

- (1) クラス・学年担当による活気溢れる運営
- (2) 学生・企業のニーズに応じた計画的・効果的なキャリアサポート
- (3) 学力の低い学生及び留学生への学習支援の充実

### 4 積極的な社会貢献活動

- (1) 高校・企業との連携・協働による看護・介護の魅力発信
- (2) 地域住民との交流・ボランティア活動への積極的な参加

## III 令和5年度学校自己点検・評価

### 1 学校自己点検・評価の実施

評価表は昨年度より「職業実践専門課程認定校用2022モデル」を使用

### 2 評価結果

図1 令和4年度・令和5年度の大項目別レーダーチャート

資料I-2

### 3 大項目別の評価の根拠、課題と対策

課題と対策に焦点を当て説明

#### (2) 学校運営

##### ①教職員の育成

課題：専門性の高い実務に関する研修や教員の指導力の修得・向上は、グループ内研修のみでは不十分

対策：組織化の中で計画された研修の成果は、組織全体で共有され、組織力向上に繋げる。

#### (3) 教育活動

#### ①教育方法・評価

課題：教育課程の評価・シラバスの見直し・修正を行っているが、コマシラバスは作成途中

対策：教育各自が1科目以上の作成を職務目標に、実績評価に繋げる。

課題：教育の質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察ができていない。

対策：コマシラバスに基づき、主体的な教員相互の授業観察・リフレクションの計画的な実施

#### (4) 学修成果・教育成果

##### ①学修成果<看護学科>

課題：育成人材像・実習目標に沿った評価基準の見直し

対策：学習者主体の学習評価、教員の評価の共通認識を目指したルーブリック評価表の作成

課題：領域別実習の事前学習課題への取り組みに対する評価基準

対策：領域別実習前の課題内容の見直し、実習前後の確認試験結果を実習評価に加え、学生への動機づけに繋げる。

##### ②資格・免許の取得率

課題：国家試験合格率が全国平均を上回る対策

対策：卒業生の国家試験の合否、在学時の成績の推移等のデータを基に、国試対策の見直し、年間計画立案、目標値を定め、学習・指導方法の共有を図る。

#### (5) 学生支援

##### ①休・退学の低減

課題：休・退学の低減に関する取り組み継続

対策：学生情報の把握・共有、家族を含めた支援計画・実施、記録の保存

#### (7) 学生の受け入れ募集

##### ①学生募集活動・入学選考

課題：合格した入学生の学習面、態度面の情報から課題の明確化

対策：総合型選抜の選考内容・方法検討、入学選抜実施要項の見直し・周知

#### (10) 社会貢献・地域貢献

##### ①社会貢献・地域貢献

課題：積極的な医療（看護）・福祉に関する情報発信・啓蒙活動

対策：諸団体（介護福祉団体、社会福祉協議会、看護協会、町内会等）との連携

議事2 令和5年度 在校生アンケート結果

J : 資料II 2023年度専門学校 YIC グループ 学生アンケートに関する調査レポートに沿って説明

<看護学科>

- 1 Q1 入学前に「専門学校」に対して期待していたこと（上位3位）  
自分の学びたい専門知識が学べる  
資格が取得できる  
将来なりたい職業に就ける技術が身につく
- 2 Q2 YIC を選んだ動機  
上記内容と同様  
Q3 YIC の教員について  
どの項目も昨年度より「そう思う」「ややそう思う」が増加
- 3 入学前と現在の気持ち  
Q4 授業・学校生活について  
「そう思う」「ややそう思う」が80%以上  
本校教育の特徴ともいえるが、グループなどの共同作業の授業で学びが深まる  
どの項目も昨年度より「そう思う」「ややそう思う」が増加  
「そう思う」「ややそう思う」が50%程度  
企業連携やインターンシップが充実している については、実習との関連と捉えられていない可能性がある →アンケート調査前に説明する

<介護福祉学科>

- Q1~Q3 看護学科と同様の結果
- 3 Q4~Q6 全ての項目で「そう思う」「ややそう思う」が80%以上

報告・議事2について 委員全員承認

以上